

農山漁村地域整備計画 事前評価調書

計画の概要	計画の名称	栃木県農業生産基盤整備計画 (R2(2020))
	計画策定主体	栃木県
	対象市町村	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、芳賀郡茂木町、芳賀郡益子町、芳賀郡市貝町、芳賀郡芳賀町、下都賀郡野木町、塩谷郡塩谷町、塩谷郡高根沢町、那須郡那須町、那須郡那珂川町 [22市町]
	計画期間	令和2(2020)～令和6(2024)年度(5年間)
	計画の目標	農業の生産性や収益性が高い魅力的な農業農村の確立に向けて、農地や農業水利施設などの農業生産基盤を整備するとともに、農村地域における定住条件強化に向けた生活環境の整備を推進することで、「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」の実現を目指します。
	評価指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 担い手の経営規模拡大や農作業の効率化を図るため、農地の大区画化等の基盤整備に併せて、担い手への農地集積を増加 (農地集積 137ha→168ha)</li> <li>・ 農地等の湛水被害の発生を防止するため、排水機場等の農業水利施設を整備し、農作物の安定供給が可能な農地を確保 (食料の安定供給可能な農地 0ha→220ha)</li> <li>・ 畜産農家の経営規模拡大を図るため、草地・飼料畑や畜舎・堆肥化施設等を整備し、飼養頭数を増加 (飼養頭数 13,767頭→17,593頭)</li> <li>・ 農業集落排水施設の整備・改築及び機能保全を行い、3,906戸の生活排水等を安定的に処理し、農村における生活環境の向上・維持を図る。(受益戸数 0戸→4,482戸)</li> <li>・ 中山間地域等での農業生産性の向上を図るため、農業用排水施設や農道等の生産基盤を総合的に整備し、優良農地を確保 (優良農地 784ha→1,215ha)</li> <li>・ 環境への負荷低減を図るため、農業水利施設を活用した小水力発電施設の導入を促進し、二酸化炭素排出量を軽減 (CO2排出軽減量 0t/年→96t/年)</li> </ul>
	対象事業	農地整備(経営体育成型):6地区、農地整備(草地整備型):1地区、農地整備(畜産担い手総合整備型):5地区、農地整備(畜産環境総合整備事業):1地区、水利施設整備(基幹水利施設整備型):1地区、水利施設整備(地域農業水利施設保全体型):1地区、水利施設整備(畑地帯担い手育成型):1地区、農村整備(農業集落排水事業):10地区、農村整備(集落基盤再編型):2地区、農村整備(中山間地域総合整備型):3地区
	関連事業	
全体事業費	5,482,393 千円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	「栃木県農業振興計画(とちぎ農業未来創生プラン)」や「とちぎ農業未来創生プランにおける農業農村整備の推進方針について」における農業農村の目指す方向と整合が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域農業の持続的な発展に寄与する目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	目標の達成に向けた指標の構成となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	事後評価時において、定量的に確認できる指標となっている。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	対象事業の実施により発現される成果に基づいた指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	地元の推進体制が整備されており、かつ関係市町村の支援体制も整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元の合意形成は図られており、速やかな整備が望まれている。
評価結果	<p>○評価 I 事業を実施</p> <p>○評価 II 計画の見直し</p>		<p>[評価基準]</p> <p>「評価 I」は全項目に○印がついている</p> <p>「評価 II」は1項目でも×印がついている</p>